



# ゆきちゃん通信

2008年5月11日 No.25

発行人

<http://yukiko.pupu.jp/>



大変ご無沙汰をしました。なんと1年5ヶ月ぶりのゆきちゃん通信です。「サボりすぎ！」と、みなさんから叱られてしまいましたが、反省しながら、待ってしてくれる人がいることをとてもうれしく思っています。

今回は中学部3年の思い出と高等部に進学してちょっと大人になった由紀子の姿をお伝えします。

## 修学旅行



去年の最大の思い出はやはり修学旅行です。2泊3日で大分・熊本を旅してきました。別府温泉に水族館・サファリパークに熊本城と、楽しいことがいっぱいでした。特急「ゆふいん号」に乗ったときも、JRが苦手なはずの由紀子が余裕の表情です。家族とではできない事も学校のみならず乗り越えられるんですね。お土産もたくさん買ってきてくれましたので「お母さんへのお土産はどれ？」と

聞いたら珍しく「ウチワよ！」とはっきり答えてくれました。

ちゃんと私をイメージして買って来てくれたんだ！と喜んだのですが・・・

なんと、そのウチワというのが、これ！セイウチがエプロンを着ける。

ショック(☆\_◎;)!

ねえ、ゆきちゃん?!

これって、この絵が私に似ていたからじゃないよね?

(〃\_〃)σ||イジイジ

だって、セイウチの体型がさ・・・

わかってるさ! 自覚してるさ!! (爆笑)



## 職場実習

職場実習では学校の近くの農家やお店で農作業をしました。

暑い日差しの中で玉葱やさつまいも・ニンジンの収穫の

お手伝いです。由紀子は農作業は苦手だと思っていたのですが

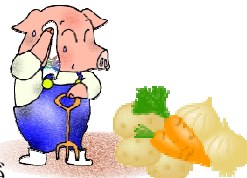
汗をかきながら黙々と仕事をこなしていたと聞いてビックリしました。

しかも、作業の現場までの行き来はいつも徒歩で、時には4キロ近い道のりを作業の後で歩いて帰って来るともありました。

つい最近まで歩くのが苦手だったのに、いつの間にこんなにたくましくなったのでしょうか?

私の知らないところで由紀子はどんどん成長をしているようです。早いもので学校生活も残り3年となりました。卒業後の生活を考える時がきています。由紀子にはどんな仕事が向いているのか、先入観を捨てて由紀子の力と可能性をきちんと見極めて進路を決めなければなりません。

またしても、親の責任は重大です。



2008年3月17日

由紀子は虹の原養護学校の中学部を卒業しました。

卒業式の予行練習までは頭を叩いたり動きが止まったりと、不安がいっぱいでしたが、本番では立派な卒業生としての姿を見せてくれました。義務教育が終わって、また大人への階段を一段登りました。



## 思い出のアルバム



JRも余裕だよ!



けむりが・・・くさい!



自分の荷物は自分で持った! おも〜い!!



このキラキラは魚よ!



動物にえさもやったんだよ! 怖くないもん!

## 先生方に感謝！

中三の担任は二年から引き続き S 田先生が受け持って下さいました。そして、もう 1 人の担任は S 渡先生。由紀子にとってはお兄さんのような存在でした。アーチェリーの選手でスポーツマン！最初は由紀子の代わりに戸惑われたのかもしれませんが、すぐに由紀子の操縦法をマスターされて最後には一緒にアンパンマンの歌を唄っていらっしゃいました。(家族ですら一緒に唄わせてもらえないのに・・・)

S 田先生は今回も魔法の呪文で由紀子をうまく導いて苦手な事をたくさん乗り越えさせて下さいました。この写真は卒業式のお別れのときのものですがこの時に先生は「最初に受け持った時には感覚が過敏で、何もしようとしない由紀子とどう向きあって行けばいいのかと思ったけれど、今振り返ってみたら 2 年間、学校の行事に参加できなかったことは一つもなかった。きついこともあったのによく頑張りました。」と、言葉をかけて下さいました。そうでしたね～！全部先生のおかげでした。ありがとうございました。

私自身も先生と出会った頃は由紀子以上に臆病になっていて、「無理はさせないで下さい」と、言うのが口癖でした。そんな私にわからないように内緒でいろんなことに挑戦させて、成功した時に報告をしていたと言う話もその日に聞きました。 そうだったんだあ～！(笑)



そういえば、遠足の時に事前に目的地の下見に連れて行ってもらったことがありました。由紀子に見通しを持たせる為と言われていましたが、あれは私を安心させて笑顔で送り出させる為の配慮だったのだと、今頃になって気がつきました。 本当に世話の焼ける母子でした。(@ ^ \_ ^)ゞ ポリポリ

何か新しいことに挑戦させる時には、細かい手立てをたくさん考えて由紀子の背中を押しながら、本番では由紀子を信じ黙ってじっと見守る先生方の姿を見て、私も見習わなくては行けないと反省して由紀子との心の母子分離を本気で頑張ろうと決心をしました。

あれから、私も少しは成長したと思うのですが…どうでしょうか？(笑)

振り返ってみれば、中学部の 3 年間は大変な事もあったけれどいい出会いをたくさん得ることができました。 S 渡先生や S 田先生だけではなく中学部で関わってくださったみなさんに本当にお世話になりました。由紀子のパニックで疲れている時に声をかけていただいてどんなに勇気付けられたことか……。保護者の気持ちまで大切にしてくださったみなさんに心から感謝しています。ありがとうございました。



## 春の嵐



卒業式が近づくにつれて、由紀子の調子がどんどん悪くなっていきました。いつもの月経前緊張症(PMS)のせいだと思っていたのですが、その症状は卒業後の休みの間に最悪な状態に…。パニックを起こして頭や壁を叩きまわり、夜中にパニックの連続で 5 日間ほとんど眠ることができない日が続きました。まるで、中学部一年生のあの嵐の日の再来のようでした。一度体験したことがあるから、2 度目は大丈夫だと思っていた私ですが、眠れない夜が 5 日も続くと精神的にも体力的にもすっかり参ってしまいました。人間はそう簡単には強くなれないものなんですね。今まで使っていた薬では抑えられなくなって新しい薬を処方してもらい、なんとか眠れるようになりました。そんな状態で挑んだ入学式。どうなることかと思いましたが、本番に強い由紀子は頭を叩きながらも最後まで式に参加することができました。これから始まる高等部の生活がどうなるのか、不安は募るばかりでしたが……。

意外にも、入学式を終えたら嘘のように由紀子が落ち着いていきました。

何故？・・・私が思うに由紀子は卒業という言葉で小学校の卒業を思い出したのだと思います。小学校の卒業の後、引越しをして友だちと別れてたった一人で養護学校へ入学しました。あの寂しさや環境の変化がフラッシュバックのように甦って来たのかもしれませんが。そして、入学式で学校が変わらないことを確認して安心したのでしょう。私も休み中に何度も説明したんですけどねえ…私の言葉は由紀子には届いていなかったみたいです。

今振り返ってみて、あの頃の学校選びの判断は間違っていなかったと思いますが、由紀子にはつらい思いをさせてしまいました。でも、こうして嵐を乗り越えてながら、由紀子はたくましくなっていくと信じて新しい春を進みたいと思います。ところで、高等部から制服になりました。似合うでしょう？(笑)



編集後記  
一年半も通信をサボってしまった為に書きたいことがいっぱい、まとまらなくて大変でした。▼やっと出来上がった通信ですが、やはり書ききれなかった思いがいっぱいです。▼ホームページには毎日の由紀子の様子を日記に書いていくので、よかつたら読んでみてください。▼思春期に入った由紀子との生活は以前のように楽しいことばかりではなくなりました。▼日記にしても通信にしてもみなさんにつらい姿をお知らせしたいものかと、いつも迷っている自分があります。▼でも、由紀子の記録として書き続けてきたこの通信の意味を思えば、このつらい時期も由紀子の人生の一ページとして書き続けていくべきなのだと思います。▼由紀子もいつか私の手を離れて別の場所で生活する日が来ます。▼確実にその日が近づいています。▼その時がこの記録がきつと役に立つはず。▼その日までもうひと頑張りです。▼みなさまもよろしくお付き合ってください。

富美子